

鹿沼市移住・定住促進スキーム

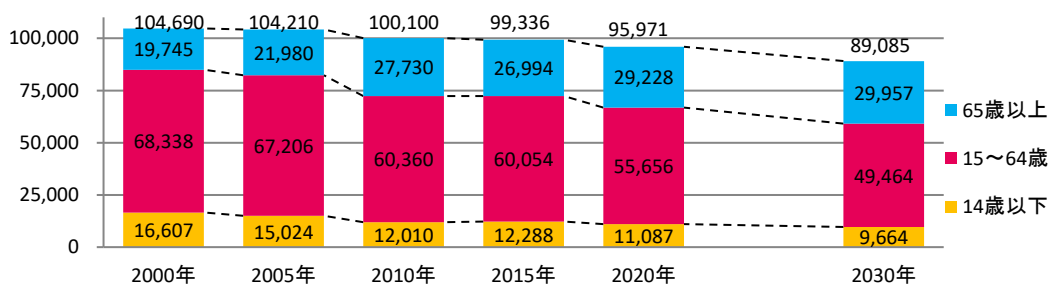
— 概要版 —

目的

- ・このスキームは、鹿沼市を取り巻く社会動態等の現状を分析し、特に首都圏からの移住・定住を今後どのように進めていくべきか、その方向性を示す計画である。
- ・2019～2022年度の移住・定住者の獲得に向けて、市はもとより、市民・事業者・地域団体等が協働で取り組む内容を具体的に示していく計画である。

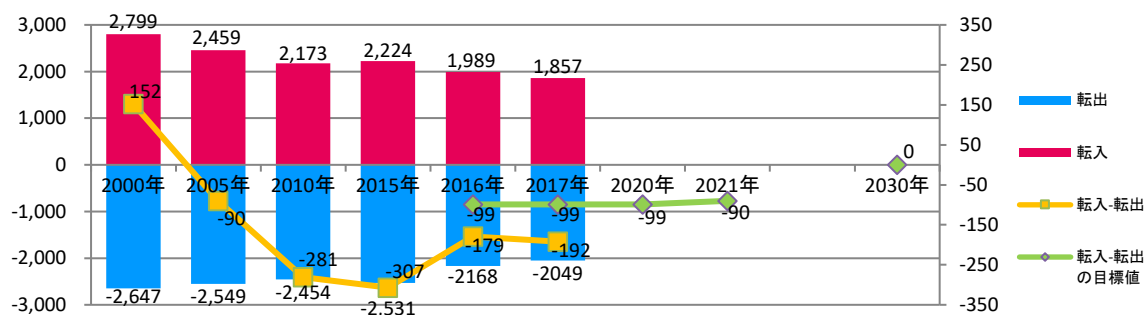
本市の人口動態

① 総人口の推移と目標



- ・2030年の総人口は、2016年に策定した「鹿沼市総合戦略」の目標値である。市の全ての施策や事業は、これを達成するために実施するものである。

② 社会動態



- ・社会動態は、2015年以降やや改善しているものの、総合戦略の目標値には届いていない。直近では100人程度の改善が必要である。

移住者インタビューから探る方策

<p>自然環境の強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい清流群と希少生物に恵まれた里山 ・清流は全国有数の美しさ ・貴重な癒しと安らぎを与えてくれる、近くて本格的な自然体験フィールド ・多様な農畜産物をはぐくむ肥沃な大地 	<p>生活環境の強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山と市街地の距離が近くアクセスも良い ・東京から100km、2つの鉄道路線と6つの駅 ・高速道路のIC ・天然温泉、清流まで市街地から10分 ・木工業などの製造業が盛んな職人のまち 	<p>人の強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脈々と受け継がれるモノづくりの技術力と人財力 ・起業の全国モデルになる経営者を輩出するなど、前向きでチャレンジ精神がある ・おもてなしの心や人と人とのつながりを大切にしている ・市民が知恵と力を結集し、実行する風土がある
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

これらの **自然環境の強み** **生活環境の強み** **人の強み** を活かしながら
 +
 移住相談の大半を占める仕事と住居の情報を充実させ、発信・提供していく

移住・定住の定義

① 移住とは…

新たな暮らしにチャレンジするために居住地を変えること。

基本的には転入してきた人すべてを指すが、このうち鹿沼市が何らかの働きかけを行った結果、移住してきた人を「移住者」としてカウントし、その数を目標値とする。

② 定住とは…

移住後 3～5 年経った状態

ターゲット分類

		移住者に占める割合	他自治体との競争	移住に要する期間
A	ポテンシャルタイプ 漠然と移住を考えていて、何かのきっかけを待っている。	大	大	中～長
B	ライフスタイルタイプ 今の仕事、暮らしに疑問を感じている。	中	大	中
C	チャレンジタイプ 「起業したい」「自分のスキルで生計を立てたい」など夢や希望を持っている。	小	中	短～中
D	コネクションタイプ 「進学」「転職」「親族との同居(介護など)」など本市との外せないつながりがある。	小	小	短

・移住者の志向から左表のように分類し、それぞれのニーズに沿った支援を、効率的に展開する。

目指すビジョン

- 1 年間を通じて様々な移住支援情報、移住体験メニューが提供される
- 2 移住前後で適切なサポートが受けられ、移住の不安が解消される
- 3 都市部でも中山間地でも、移住の受け入れ態勢が整っている
- 4 移住者が移住者を呼ぶ好循環が生まれる
- 5 若者がふるさと鹿沼に対する愛着を持ち、前向きに暮らしていくイメージを持っている
- 6 仕事や住居などの生活基盤が整っている

目標値

- ① 移住相談、移住関連施策・事業による移住者数：15人以上/年
- ② 移住者の3年後定住率：70%以上

事業展開

フェーズ1 移住者情報の集約とフォローアップ

- ・これまで鹿沼営業戦略課の移住相談事業のみで把握していた移住者情報を、直接的に社会動態改善に寄与するすべての事業に拡大して収集し、移住者の相談からフォローアップを実施する。
- ・幅広く移住者の動向を把握することで、どの事業が効果的なのか？そして今後どの事業に注力していくのか？選択と集中の判断材料としていく。

フェーズ2 個々の移住ターゲットに応じた移住サポート

- A ポテンシャルタイプへのサポート
情報接触頻度を増やし、現地体験へとつなげていく
- B ライフスタイルタイプへのサポート
生活環境比較と具体的な仕事・住居の提案
- C チャレンジタイプへのサポート
情報接触頻度を増やし、現地体験へとつなげていく
- D コネクションタイプへのサポート
暮らしのイメージを思い出せる・膨らませる

フェーズ3 戦略プログラムの推進とブラッシュアップ

- ・第7次鹿沼市総合計画(2017~2021)では、人口減少対策として「戦略プログラム」を掲げており、これらの事業が社会動態改善に影響を及ぼすことが期待される。
- ・プログラム事業の確実な実施と、社会情勢を踏まえた事業のブラッシュアップによって、より高い効果を狙っていく。
- ・移住者獲得のみではなく、住んでいる人や企業の転出も防いでいく必要がある。

新たな移住・定住推進事業の構築

<p>I J U ターン 関係人口創出</p>	<p>1 (仮) 独自セミナー、ツアーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでは国や県が主催するフェアやセミナーに出展するのみであったが、より独自色の強いセミナーやツアーの単独開催を検討する。 ・いきなり移住に結びつかなくても、まずは本市の魅力を知ってもらい、「コアなファン」づくりから関係人口創出⇒移住につなげていく。 ・移住相談窓口の鹿沼営業戦略課だけでなく、テーマに応じて関係部局と連携し実施していく。
<p>I ターン</p>	<p>2 鹿沼の「暮らし」「仕事」にフォーカスした媒体の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の移住パンフレットなどは鹿沼市の特徴や移住支援制度の紹介などがメインコンテンツであったが、より踏み込んだ切り口で、実際の移住者、生活者の仕事や住居暮らしにフォーカスした媒体を作成・運用していく。 ・特に若年層をターゲットと想定し、鹿沼で生き生きと前向きに暮らす「人」や地元根付いた「仕事」などを、移住者の声、地域の声としてリアルで紹介するウェブや紙面を展開する。
<p>I ターン</p>	<p>3 地域おこし協力隊の活動拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの地域おこし協力隊は鹿沼営業戦略課のみで委嘱・任用してきたが、全国の事例も参考にしながら様々な施策・事業・地域等のニーズに応じて、全部局において採用を検討していく。 ・任用期間中は協力隊の活動を全面的にバックアップするとともに、鹿沼市が抱える課題などを、ともに解決できるよう伴走していく。 ・協力隊期間が終了した後も、引き続き定住してもらえるよう就業や起業・創業、住居などを支援し、関わりを継続する。
<p>I J ターン</p>	<p>4 (仮) 移住促進名刺デザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住支援サイトへの誘導や鹿沼の暮らしやすさをPRする名刺デザインを職員名刺、市民、企業等へ提供し、移住を呼びかける。
<p>U ターン</p>	<p>5 (仮) 「鹿沼からの手紙」作戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住支援サイトへの誘導や鹿沼の暮らしやすさをPRする年賀状や折々の手紙デザインを市民等へ提供し、特にUターンを呼びかける。
<p>居住誘導</p>	<p>6 移住者ニーズに応じた居住誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者のニーズに応じ、おためしのお家の利用を促し、不動産事業者や地域と連携し様々な不動産物件情報を提供することで居住を誘導していく。 ・おためしのお家の利用などを通して、まずは気候や生活環境や地域の特色などを知ってもらった上で、市街地 or 里山、賃貸アパート or 空き家物件、新築など居住地域や物件を選んでもらう。 ・そのために各地域の情報をこまめに収集し、不動産事業者との連携をより強固にしていく。
<p>定住支援</p>	<p>7 (仮) 鹿沼暮らし“結い”事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者が希望すれば、移住前の段階から、地域の人々と「近い仲」になれるよう、移住者と地域を結びつける「(仮) 支援員」を各地区に配置する。 ・移住者と地域との橋渡しを行い、移住者が安心して定住できるよう支援するとともに、地域の愛着向上、Uターン促進など、地域づくりにも寄与していく。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒地域イベントなどの情報発信など、移住定住につながる可能性のあるイベント等への参加の促し ⇒地元の米や野菜などの収穫体験や共同の農作業等の催し ⇒「(仮) 支援員」同士のネットワーク会議（情報交換等）の設置